



Fig.6 DD法による震源位置 (Fig. 5) により求めた、前震から最大余震までの主な地震のメカニズム解 (下半球等積投影)。数字は地震番号を示し、1は前震 (7/26 0:13 M5.5)、6は本震 (7/26 7:13 M6.2)、16は最大余震 (7/26 16:56 M5.3) を示す。